

No. 3164

2026-2027年度

会 長 菅原 佳典
幹 事 福原 陽司
クラブ 広報副委員長 井上 修平



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



持続可能な
インパクトを
生み出そう

2026-2027年度クラブ方針

「地域に与えられる影響とは何かを
考えよう」～奉仕による社会への影響～



次回のお知らせ

令和8年9月17日 第3166回

- ・月見例会
花柳流 よしみ会「日本舞踏」
- ・ソング「それでこそロータリー」

本日のプログラム

令和8年9月10日 第3165回

- ・ガバナー公式訪問「ガバナーアドレス」
国際ロータリー第2640地区 岡本弥生ガバナー
- ・ソング「四つのテスト」

前回の報告（第3164回例会）

開催日 令和8年9月4日(木)

点 鐘 〔菅原会長〕

ゲストの紹介 〔親睦活動小委員会 中元委員〕

ゲスト: 田中 いずみ氏(有田市教育委員会 教育長)
永田 崇氏(有田市教育委員会 指導主事)

今月の誕生日

〔クラブ管理運営委員会 川口委員長〕

会員誕生: 山下 智大君(9/1)、菅原 佳典君(9/6)

酒井 雄亮君(9/9)

配偶者誕生: 福原 久美さん(9/13)、

中村 有香さん(9/25)



9月お誕生日
(左から) 菅原君、
山下君、酒井君
おめでとう
ございます！

ニコニコ箱の報告 〔橋爪(誠)SAA〕

菅原君: 有田市教育長 田中いずみ様、ようこそ有田ロータリークラブへお越し下さいました。本日の卓話楽しみにしています。宜しくお願いいたします。勉強させていただきます。

福原君: 田中いずみ様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願いいたします。

成川(守)君: 田中教育長様、本日の卓話ありがとうございます。尚、お母様が有田RC事務所にお勤めの際は、大変お世話になりました。

石垣君: 田中いずみ様、ようこそ有田RCへお越し下さいました。本日の卓話よろしくお願いいたします。

岩橋君: 田中いずみ教育長、卓話よろしく御願いします。

上野山(捷)君: 田中いずみ様、ようこそ有田RCへお越し下さいました。本日の卓話よろしくお願いいたします。

橋爪(正)君: 田中いずみ様、本日の卓話よろしくお願いいたします。

中村君: 田中教育長、本日は有田RCへお越し頂き誠にありがとうございます。卓話楽しみにしております。

宮井君: 長期間例会を欠席させて頂きありがとうございます。有田市教育委員会教育長 田中いずみ様、卓話宜しくお願いいたします。

成川(雅)君: 田中いずみ様、ようこそ有田RCへ。お話し楽しみにしています。

松村君: 田中いずみ教育長様、永田崇指導主事様、有田RCへお越し下さいましてありがとうございます。お話し楽しみにしています。月曜日に胃の内視鏡検査を受けました。特に問題ありませんでした。

中元君: 田中いずみ先生、本日の卓話よろしくお願いいたします。永田崇様、ようこそ有田RCへ。

井上君: 田中いずみ教育長、本日の卓話よろしくお願いいたします。

川口君: 田中いずみ様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願いいたします。勉強させていただきます。

児嶋君: 有田市教育長 田中いずみ様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願いいたします。

酒井君: 田中様、有田RCにお越し下さいましてありがとうございます。卓話楽しみにしています。

山下君: 田中教育長様、卓話楽しみにしています。

橋爪(誠)君: 田中いずみ様、ようこそ有田RCへ。興味深い題目、本日卓話勉強させていただきます。食欲の秋ですね！ダイエット中の私にはつらいですが、秋の味覚楽しんでください。

出席報告 [例会運営小委員会 児嶋委員]

本日の出席者17名／24名
(うち出席規定免除者7名／7名)

会長の時間 [菅原会長]

9月はロータリーの「基本的教育と識字率向上月間」です。本日は、私たちが普段当たり前のように捉えている「識字率」についてお話しします。



まず識字率についてですが、一般的には「特定の国や地域で、文字を読み、意味を理解し、書くことのできる人がどの位の割合でいるのか」を数値化したもので、主に15歳以上の大人を対象に算出されます。

またユネスコでは「日常生活で用いられる簡単で短い文章を、理解して読み書きできること」と定義し、15歳から24歳を対象に調査を行っています。

では、日本の識字率はどのくらいでしょうか？「現在の日本は100%！」と誰もが思っていないでしょうか。日本では小学校6年、中学校3年の間、保護者は子どもを学校に通わせる義務があります。ご存じの「義務教育」です、この9年間で日本人は「基本的教育」を受ける権利を擁します。またこの「義務」ですが、教育を受けさせることを国や自治体の義務だけだと思われる方がいるかもしれませんが本来は、保護者が子どもを学校に通わせ教育を受けさせる義務があることは忘れてはならない大切な点です。この義務教育があるがゆえに、日本の識字率は100%であると思われがちです。しかし実は現在、日本国内で識字率の調査というものは行われていません。日本政府が初めて調査を行ったのは明治初期で、その後本格的に調査されたのは終戦直後の1948年(昭和23年)でした。国内の15歳から64歳の男女1万7千人を対象に行った調査を最後に、それ以来は行われていません。

ところが、2020年(6年前)に行われた国勢調査を見ると驚くべき数字が並びます。「最終学歴が小学校」の人が約80万4千人、小学校卒業未満の「未就学」の人が約9万4千人。事実上の「義務教育未終了」の人が、合わせて約90万人もいるのです。この背景には、保護者による虐待や無戸籍など家庭の事情、犯罪被害、不登校や病気、先の戦争により学習機会を失ったまま成人したケース、また外国籍の方が学齢期に学校へ行けなかったことなど、様々な理由があります。

さらに、実際には通っていないのに表向き卒業扱いとなっている「形式卒業者」の存在もあります。それにもかかわらず、ユネスコ(ユニセフ)のデータでは日本の初等教育修了率はなぜか100%とされ、識字率については調査実績がないため空欄となっています。調査もしていないのに100%とされているのは、少々おかしいと思いませんか。

では、識字率が低いとどのような問題があるのでしょうか。

1つ目は「職業選択の幅が狭まることによる貧困の加速」です。書類が読めない、契約書が理解できない、届け先の住所が分からない、メールが打てない、仕入れができないといった状態では、就業できる職種が著しく限ら

れてしまいます。

2つ目は「児童労働問題と貧困の連鎖」です。親が読み書きできず収入の良い仕事に就けないと、家計を助けるために子どもも働かざるを得なくなります。

3つ目は「危険を察知・回避できないこと」です。読み書きは身を守る術です。紛争地域で「地雷注意」の看板が読めずに立ち入って怪我を負う、薬と毒の区別がつかず誤飲する、内容が分からないまま契約書にサインをして土地や子どもを奪われる、といった深刻な問題が実際に起きています。

SDGsの4番目の目標には「2030年までに、全ての若者及び大多数の成人が、読み書き能力及び基本的計算能力を身に付けられるようにする」とあります。地球上のすべての人に生涯学習と質の高い教育を保障することが目指されています。識字率向上のためには、まず現状を知ることが必要です。このテーマを聞くと、私たちはつい世界の紛争国や貧困国の子どもたちのことだけを思い浮かべがちです。しかし、生まれた年代や環境、不登校など様々な理由から、日本国内にも読み書きが困難な方々が厳然と存在しているのです。

「基本的教育と識字率向上月間」にあたり、まず私たちの足元である日本や地域社会の現状を見直し、地域に何か良い「IMPACT(インパクト)」を与えられないか、今一度考える機会ではないかと思いました。

幹事報告 [福原幹事]

- 1.9月の国際ロータリー為替レートは1ドル160円です。
- 2.ガバナー公式訪問についてお知らせが届いています。
- 3.田辺東ロータリークラブより週報が届いています。回覧



委員会報告

※クラブ管理運営委員会[川口委員長]

次週はガバナー公式訪問です。上着、ネクタイの着用をお願いします。

※R財団・米山記念奨学委員会[中元副委員長]

川口健太郎君よりR財団特別寄付をいただきました。

卓 話



有田市教育委員会 教育長
田中 いずみ 氏

「てま・ひま・かけて・・・」

自分がこれまで大事にしてきたこと、またこれからもずっと大切にしていきたいことは「人に寄り添う心を持った人間でいたい」ということです。

人の話にじっくりと耳を傾けることで、見えてくることがあります。自分とは違った考え方であっても、共感できるとこ

ろを見つけ、次のステップに繋げていくことを心がけています。てま・ひまかけて向き合うことが大事だと思います。

今現在、有田市の児童生徒は、約1,500人、教職員は約170人です。

子ども達は、ランドセルや通学カバンの中に、教科書だけではなく、たくさんの家庭事情を詰め込んで通学しています。また、自分の心と折合いをつけながら家の中で過ごしている子もいます。学校・家庭・行政・地域の方々…それぞれが役割分担をしながら、有田市の子ども達の育ちを育んでいきたいと思っています

失敗談も含め、校長時代の経験を3件お話しします。

1、不登校で学校に来れなかった子の夢はネイリストになる事。校長室で定期的にネイルをしてもらう機会を設けたことで、彼女は学校に来れるようになりました。彼女とは2年の月日をかけ、じっくりと向き合うことで少し心を開いてくれました。

2、漢字の間違いを赤ペンで訂正した担任に苦情を言う保護者には、間違っている漢字の横に青ペンでナミナミ線を入れるということで納得していただきました。考えの違いでぶつかることは多々ありましたが、毎日の電話、学校への訪問があり、会話を重ねるうちになんだかお互いに話しやすい存在に変化しました。

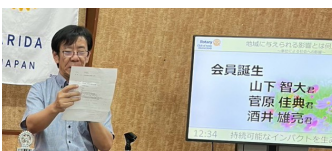
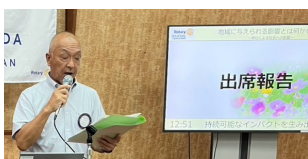
3、5月の雨の夜、新規採用の教員と一緒に、アゲハチョウの幼虫に食べさせるため、学級園でみかんの葉をたくさん採りました。次の日、その教員から「退職します。やりたかった音楽の道に進みます」と電話がありました。大変ショックで、もっと丁寧に、前日の夜、話を聞いてあげれば良かった…と後悔でいっぱいでした。

人の心の中が見える便利な道具はありません。私は「てま・ひま・かけて」人に寄り添い、話を聞き、心の声を受け止めることのできる、そんな人でありたいと思います。

閉会・点鐘

〔菅原会長〕

例会風景



親睦家族お月見例会のご案内

日時：2026年9月17日（木）

場所：橘家

演者：花柳流 よしみ会

会費：会員 9,000円

ご家族 8,000円

皆さま、
ご参加ください。



10月の例会プログラム

10/1(木)	外部卓話 豊田 泰史 氏 (第2640地区 危機対策委員長) 「ロータリーの ハラスメント対策」
10/8(木)	ローテーションデー 社会福祉法人 守皓会 「法人概況について」
10/15(木)	休会
10/22(木)	前期IDM発表
10/29(木)	外部卓話 下 宏 氏 (和歌山県特別顧問、和歌山県立 近代美術館名誉館長、前副知事) 「和歌山県立美術館について」